

いわしやいきせ通信

みなさん、ドリュー・ディウォルト、オリヴァー・シェアーズさん
の絵本「クレヨンからのねがい」を読んだこと、ありますか。

先日、三小の三年生が文流して
いる小児聴覚特別支援学校の文
化祭に招待されて、劇や合唱の発
表を見ることができました。

その時に、「クレヨンからのお
ねがい」の劇がありました。

いつもクレヨンで絵をかいてく
れるケビンに、クレヨンたちが手
紙をかきます。

やあ、ケビン。
いつもぼくをつか
ってくれてありがとう。

ただ、少し休ませてくれないか。
このままだと、ぼくの体がなくな
ちゃいそうだよ。青色クレヨンより

ねえ、ケビン。私の服をど
こも。私の服をつくってよ。

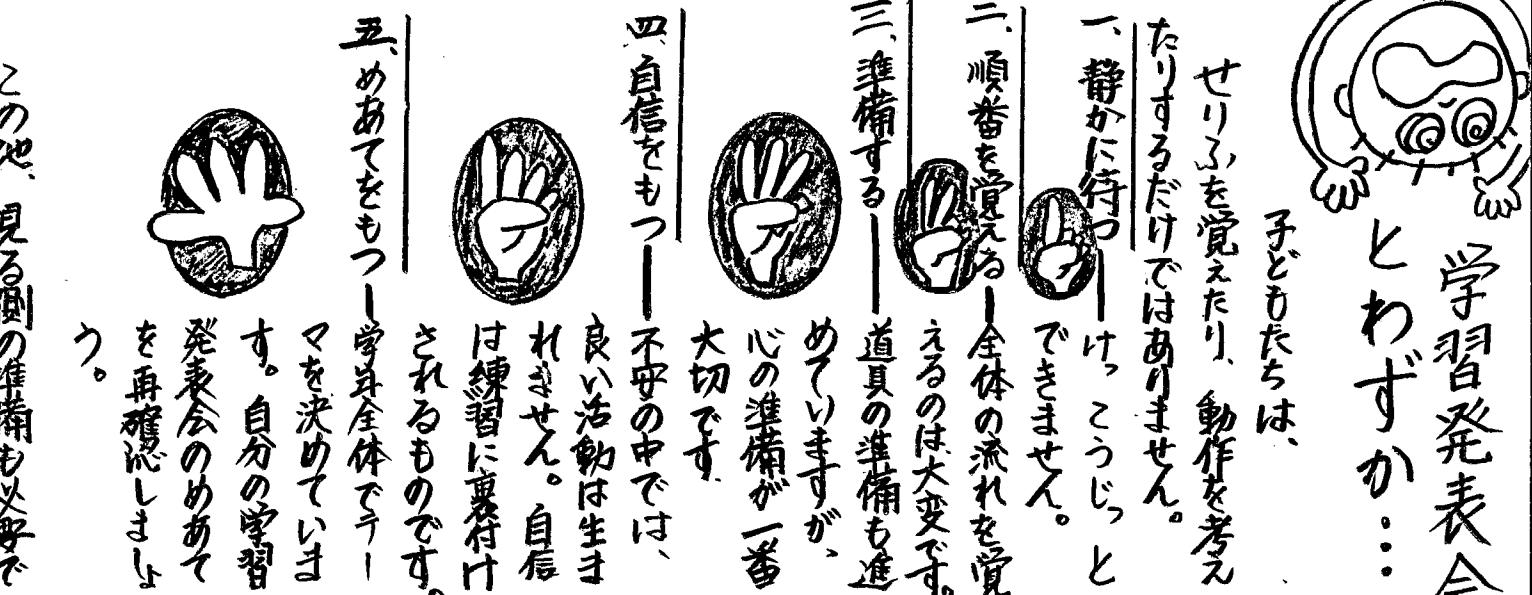
茶色のクレヨンより



ねえ。ケビンさん。私はきれ
いな。ピンク色なのに、どうしてつが
てくれないの? たまには、ピンク
のドレスを着たら、おひめさわをかいつ
よ。おねがいします。描き方コードを

ねえ。ケビンにち事情があるよ。で、
ケビンにお願いやお札を手紙にかき
ました。

さて、手紙を読んだケビンは、ビ
うしたで、こう。どうお話をです。



子どもたちは、

セリフを覚えたり、動作を考え

出来てあたり、あ

たりするだけではありません。

一、静かに待つ

け、こうじつと

努力の成果です。

前では、ありません。全て

二、順番を覚える

全体の流れを覚

えるのは大変です。

三、準備する

道具の準備も進

めてりますが、

心の準備が一番
大切です。

四、自信をもつ——不安の中では、

良い活動は生まれません。自信
は練習に裏付け

されるものです。

それは、今、あることはすぐに出

来ないだけで、近い将来には、
出来ることかもしません。将来

に向かって複雑りつづけるのであ

れば、今は出来ていなくても良い

と私は考えます。さて、そんな

人たちにこそ、だから応援をして

いきたいと思うのです。

五、めあてをもつ——学年全体でテー

マを決めていきま

す。自分の学習

発表会のめあて

を再確認しますよ

う。

この他、見る側の準備も必要で
す。では、どんな準備が必要なの
でしょうか。

だれ一人として成長しない人は
いません。私は、見えにくい成長
を、認められる見る側の人たちに見
たりと思っています。